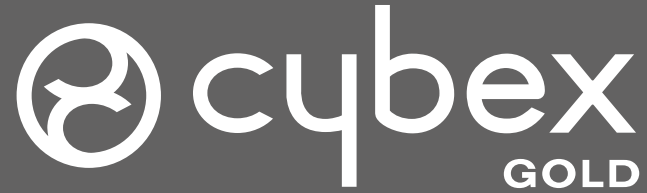


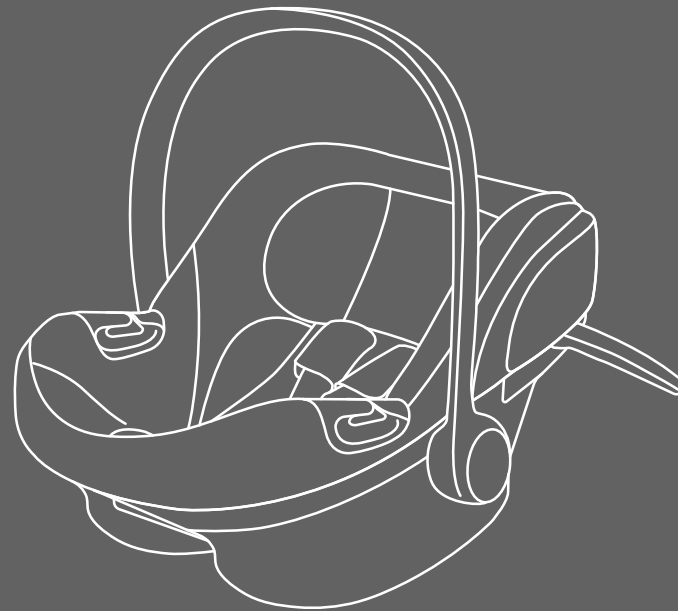
当説明書は本体と合わせてご返却下さい。



株式会社ベビーリース

〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158-19

TEL 047-392-1234



## ATON S2 i-SIZE

UN R129/03 規格適合 身長：45cm-87cm 体重：13kgまで  
(新生児から1歳半頃まで)

### 取扱説明書

## はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ATON M i-Sizeは、安全性と快適性、そして使い易さに焦点をあてて開発されました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、本体背面の取扱説明書収納ポケットに保管してください。本製品を第三者に譲渡する場合は、取扱説明書を一緒に譲渡してください。

# もくじ

## お使いいただく前に

本製品について	3
月齢・身長等のめやす	4
車への取り付け	5
安全上のご注意	7
各部の名称	13
同梱品を確認する	15

## 車のシートに取りつける

専用ベースを使用する	16
ISOFIX コネクタを接続する	
サポートレッグを設置する	
車から取りはずす	
シートベルトを使用する	21
車に取りつける / 車から取りはずす	

## 基本的な使い方

キャリーハンドルを調整する	24
お子様を座らせる	25
ヘッドレストを調整する	27
安全ベルトを使う	28
安全ベルトを締める / 安全ベルトを緩める	
リニア・サイドインパクト・プロテクションを使う	30
引き出す / しまう	
専用ベースにチャイルドシートを取りつける	31
専用ベースに取りつける	
専用ベースから取りはずす	

お子様を乗せて持ち運ぶ	33
新生児用インレイを取りはずす	33
航空機の座席に取りつける	34

## トラベルシステムとして使う

ベビーカーに装着する	35
ベビーカーに取りつける / ベビーカーから取りはずす	
サンキャンピーを使う	36

## 点検とお手入れ

点検について	37
日々の点検 / 事故にあったとき	
各部のクリーニング	38
シートカバーを取りはずす / シートカバーを取りつける	
シートカバーを洗濯する / 汚れを拭き取る	
耐用年数について	39
保管する	40
廃棄する	40

## アフターサービス

お問い合わせ	41
ユーザー登録のお願い	41
保証規定	42
保証書	42

# 本製品について

## ⚠ 注意

### 使用時の注意事項

- 本取扱説明書は必ずお読みになり、いつでも確認ができるよう本体の取扱説明書収納ポケットに保管をしてください。

本製品は、サイベックス社の専用固定補助装置「Base One」を用いて使用する「i-Size」年少者用補助乗車装置です。本装置は、車両ユーザーマニュアルに車両メーカーによって示されている「i-Size」適合車両の着座位置で使用するものとして、UN R129に基づいて認可されています。

車に i-Size 適合車両の着座位置がない場合は、本製品の車種別適合表をご購入前に必ず確認してください。

(本製品は ISOFIX 対応の表記がある座席でも使用することができます。ただし ISOFIX 対応の表記があっても全ての車に取りつけられるものではありません。)

車種適合については、当社の WEB サイト ([www.cybex-online.com](http://www.cybex-online.com))、及び本製品に付属している適合表にてご確認ください。不明点のある場合は、弊社カスタマーセンター及び販売店にお問い合わせください。



Infant Carrier Module  
**Aton S2 i-Size**  
45cm - 87cm / ≤ 13kg

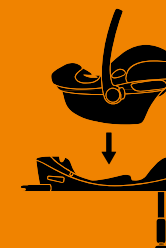


030068

UN Regulation  
No. 129/03

CYBEX GmbH  
Riedingerstr. 18, 95448 Bayreuth  
Germany

Module Aton S2 i-Size  
45cm - 87cm / ≤ 13kg



**CYBEX Base One**  
R129-030067

CYBEX GmbH  
Riedingerstr. 18, 95448 Bayreuth  
Germany

## 月齢・身長等のめやす

---



### 使用時の注意事項

- 本製品の条件に合致しないお子様には使用しないでください。  
本来の安全性能を発揮できなくなります。

本製品は、車両ユーザーマニュアルに車両メーカーによって示されている「i-Size」適合車両の着座位置で使用するものとして、UN R129に基づいて認可されたチャイルドシートです。以下の条件に合致しないお子様には本製品を使用しないでください。

身長：45 cm-87 cm

体重：13 kgまで

月齢のめやす：新生児から1歳半ごろまで

# 車への取り付け

## 警告

### 車への取り付け時の注意事項

- 本製品は、フロントエアバッグのある座席には取り付けないでください。  
エアバッグが作動した場合の衝撃によりお子様に強い力が加わりケガをするおそれがあります。



- 本製品を例外的に助手席に取りつけるときには、次の事項を必ず守り使用してください。

- 1) 助手席に ISOFIX が装備されているかを確認してください。
- 2) フロントエアバックを必ず解除してください。解除ができない助手席での使用は禁止されています。
- 3) 車のシートを最も後ろまでスライドさせて使用してください。  
事故時の衝撃でお子様ที่ Dashboard にぶつかるおそれがあります。

本製品は、以下の方法で車へ取り付けることができます。

### 専用ベース (Base M) を使う ※欧州安全基準 UN R129/03 適合

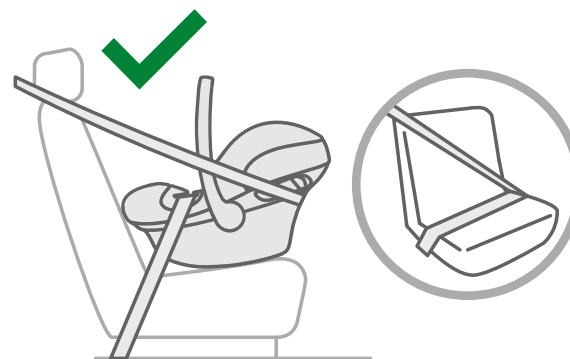
別売の専用ベース (Base M) を、ISOFIX (アイソフィックス) に対応したロアアンカレッジ固定金具に ISOFIX コネクタで固定し、その上に本製品を取りつける。



BASE One

### 車のシートベルトで固定する ※欧州安全基準 UN R129/03 適合

ECER16 又は同等の基準で許可された「緊急ロック式巻き込み装置付き 3 点式シートベルト」を装備した座席に本製品を直接シートベルトで固定し取りつける。



本製品の適合車種については、当社 Web サイト ([www.cybex-online.com](http://www.cybex-online.com)) をごらんください。

本製品を直接シートベルトで固定し取りつける場合は、シートベルトの種類による取付け時の注意事項を P.6 の表でご確認ください。

シートベルトの種類		シートベルトの特徴	取り付け時の注意事項	可否
ELR	緊急ロック式ベルト巻取装置機能付シートベルト	シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできませんが、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックする。	シートベルトをゆっくり引き出しながら取り付けを行う。	○
ALR	自動ロック式ベルト巻取装置機能付シートベルト	引き出したベルトを任意の位置で停止させることで自動的にロックする。ロック時は巻き取り方向にのみ動き、それ以上引き出せなくなる。	本製品の固定に必要な長さを敷きだしてから取り付けを行う。	○
ELR/ALR	チャイルドシート固定機能付シートベルト	通常はELR式として機能するが、シートベルトを最後まで引き出すとALR式に切り替わり、シートベルトがロックされ、巻取ることしかできなくなる。すべて巻取るとロックが解除される。	ALR機能を作動させないように、シートベルトを必要な分だけ引き出しながら取り付けを行う。	○
NR	マニュアル式シートベルト	ロック機能がなく、常に引き出し・戻しができる。		X
	その他のシートベルト	2点式、4点式、5点式、パッシブシートなど		X

## 取り付け可能な座席

- 1) 車の取扱説明書に「i-Size」適合の表記や以下のマークがある座席



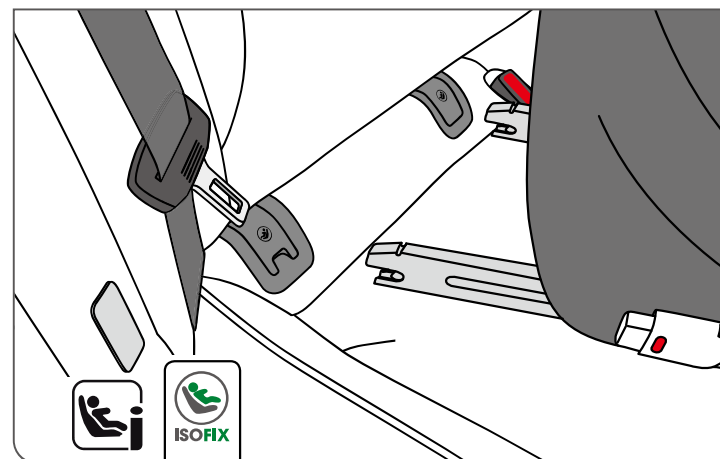
- 2) 車の取扱説明書に「ISOFIX対応」表記や以下のマークがある座席



本製品の適合車種については、当社Webサイト ([www.cybex-online.com](http://www.cybex-online.com)) をごらんください。本製品を取りつけるシートには、右記のISOFIXに対応したロアアンカレッジ取り付け金具が必要です。

## 取り付けできない座席

- 1) フロントエアバッグのあるシート
- 2) 車の進行方向に向かって前向きでないシート(後ろ向き、横向き)
- 3) 席並びのシートがある車で、ドアのすぐ内側でないシート
- 4) チャイルドシートを取りつけると運転操作のさまたげや、視界のさまたげになるシート
- 5) サポートレッグが正しく車のフロアに設置しない座席
- 6) 車のフロアに収納ボックスやコンソールボックスがある座席
- 7) 座面の形状が特殊なシート(フラットな部分が極端に狭いものなど)



身長	45 cm - 87 cm		
サイズ等級	E	D	C
固定具	ISO/R1	ISO/R2	ISO/R3

# 安全上のご注意

この本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ⚠ 警告

誤った取り扱いをすると「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

## ⚠ 注意

誤った取り扱いをすると「軽傷を負ったり、製品などに損害が生じるおそれがある内容」です。

## ⚠ 警告

### 開梱時の注意事項

- 取扱説明書に記載の使用方法を守って使用してください。

衝撃が加わったときに安全性能を発揮できなくなったり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 梱包等に使用されているビニール袋を、お子様に触らせないでください。

お子様がビニール袋に顔を入れて窒息するおそれがあります。

- 専用ベースを使用するときは、全ての梱包材をはずした上で使用してください。

本製品が正しく固定されず、衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。

### 車への取り付け時の注意事項（共通）

- 本製品は、フロントエアバッグのある座席には取り付けないでください。

エアバッグが作動した場合の衝撃によりお子様に強い力が加わりケガをするおそれがあります。



- 本製品を例外的に助手席に取り付けるときには、次の事項を必ず守り使用してください。

- 1) 助手席に ISOFIX が装備されているかを確認してください。
- 2) フロントエアバックを必ず解除してください。  
解除ができない助手席での使用は禁止されています。
- 3) 車のシートを最も後ろまでスライドさせて使用してください。  
事故時の衝撃でお子様がダッシュボードにぶつかるおそれがあります。



- 本製品を車の進行方向に対して、後ろ向き、横向きの座席に取りつけないでください。
- 本製品は進行方向に対して後ろ向き(お子様の足が車の背もたれの方向に向く)で車のシートに取りつけてください。それ以外の向き(横向きや前向きなど)に取りつけないでください。
- 車に取りつける前やお子様を乗せる前に、チャイルドシートに異常や破損がないか確認してください。

異常や破損がある場合には使用を中止し、販売店に連絡してください。

### (専用ベースを使用して取りつける場合)

- 専用ベースを使用するときは、全ての梱包材をはずした上で使用してください。  
本製品が正しく固定されず、衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- 専用ベースを取りつける座席の足元には何も置かないでください。  
物がぶつかりレッグサポート等が破損して、安全性能を発揮できなくなります。
- 専用ベースのサポートレッグと床面の間には何も置かず、サポートレッグが直接車の床面に接するよう装着してください。サポートレッグインジケータが「緑色」になり警告音が止んでいることを確認してください。
- 専用ベースのサポートレッグが接する底面に収納機能がある場合は、装着しないでください。

車両構造上問題がある場合には、自動車メーカーに相談してください。

### (シートベルトを使用して取りつける場合)

- 本製品をシートベルトで固定する場合は、ECER16又は同等の基準で許可された「緊急ロック式巻き込み装置機能付き3点式シートベルト」を装備した座席でのみ使用することができます。それ以外のシートベルトでは本製品を使用しないでください。

取り付け方法を守らないと、衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。また、事故の際、お子様や同乗者にぶつかりケガをするおそれがあります。

- 車の背もたれがリクライニングできる場合は、一番起こした状態でロックされたことを確認して取りつけてください。背もたれをリクライニングさせた状態で取りつけないでください。
- 本製品を取りつける座席の座面には何も置かないでください(座席保護のための毛布、タオル、チャイルドシート保護マット(別売)などは除く)。  
本製品が正しく装着されずに、衝撃が加わったときなどにはずれるおそれがあります。
- 本取扱説明書に従っても適切に取りつけができないシートには、本製品を取りつけないでください(車のシートが小さい、シートベルトが短いなど)。

- サポートレッグを折りたたんだまま、専用ベースを車の座席に取りつけないでください。
- 本製品を専用ベースに取りつけた時は、ベースのシートロックインジケータが「緑色」になり、しっかりと固定されていることを確認してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- ISOFIXコネクタは、汚れや異物詰まりなどが無い清浄な状態を保ってください。  
ISOFIXが正しくロックされずに、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できなくなります。

- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトが破損していたり正しく機能していない座席には本製品を取りつけないでください。
- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトバックルのベルト部分が長過ぎて、バックルが本製品のベルトガイド部分に達してしまう座席には取りつけないでください。
- シートベルトにねじれやたわみがないか確認をしてください。

- 本製品をヒモやテープなどのシートベルト以外のもの固定しないでください。  
取りつけ方法を守らないと、衝撃が加わったときなどにはずれたり、ヒモやテープがお子様に絡まり窒息するおそれがあります。
- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトの肩ベルト部分がベルトガイドとベルトフックに正しく通って固定されているか確認してください。

- リニア・サイドインパクト・プロテクションを使用して本製品を車に取りつけしないでください。
- 本製品を取りつけ/取りはずしするときは、ドアやウインドウなどに挟まったり、打ついたりしないように注意し、両手でしっかりと支えて行ってください。  
衝撃で本製品が破損したり、お子様をのせたチャイルドシートが転落するおそれがあります。

## 使用時の注意事項（共通）

- 本製品の条件に合致しないお子様には使用しないでください。
- お子様だけを車内に残さないでください。  
車内温度は60℃以上にも達することがあり、熱中症を引き起こすおそれがあります。
- 本製品は1人乗り専用のチャイルドシートです。本製品に1人以上で座らせないでください。  
お子様や同乗者に重大な傷害をおよぼす恐れがあります。
- 車の外で本製品にお子様を座らせるときは平らな場所で行い、キャリアハンドルがシッティングポジションで固定され、本製品の底面が安定したことを必ず確認してください。  
不安定な状態でお子様の乗せ降ろしを行うと、お子様が思わぬケガを負うおそれがあります。
- 本製品の上やまわりに、おもちゃなど固いものがない状態で使用してください。  
お子様がケガを負うなど思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしをしないでください。  
急ブレーキのときなどに転がってお子様が思わぬケガをするおそれがあります。
- 本製品を以下のような固定できない高い場所や不安定な場所に置いて、お子様をシートに座らせたまま決して目を離さないでください。  
\*テーブル、椅子、ソファ、ベッド、ベンチ、おむつ台、荷物棚、車の屋根などの固定できない高い場所  
\*自転車、ショッピングカート、非対応のベビーカー、電車やバスの座席などの不安定な場所本製品が転落し、お子様や周りの人が思わぬケガを負うおそれがあります。
- ヘッドレストはお子様の体格に合わせて、正しい位置に調整した上で使用してください。  
衝撃が加わったときに安全性能を発揮できなくなります。
- ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。
- 安全ベルトは、カチッというまでバックルに差し込み、正しく固定された状態で使用してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。また、お子様が本製品から転落するおそれがあります。
- 肩ベルトはヘッドレストと連動して高さが調整されます。ヘッドレストが正しい位置で固定されているかを確認してください。
- 安全ベルトはゆるみやねじれなどがない状態で使用してください。
- 安全ベルトはお子様の体格や服装などに合わせて、乗車の都度、調整してください。
- 安全ベルトの固定バックルは、汚れや差込口内部の異物詰まりなどがない清浄な状態を保ってください。  
安全ベルトが正しくロックされずに、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できなくなります。
- 本製品にお子様を座らせて持ち運ぶときは、キャリアハンドルがキャリングポジションで固定されていることを確認してください。  
持ち上げたときにシートが傾いたり、ひっくり返ったりしてお子様転落するおそれがあります。

- 本製品にお子様を座らせて持ち運ぶときは、キャリーハンドルを手で握りしっかり支えて持ち運んでください。  
片腕や肩にかけて持ち運んだりすると、お子様が転落するおそれがあります。
- リニア・サイドインパクト・プロテクションを使用して、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクションが破損し落下するおそれがあります。
- サンキャノピーを使って、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
サンキャノピーが破損し落下するおそれがあります。
- 本製品にお子様を座らせていないときでも、常に専用ベースに装着するか、シートベルトで車に正しく取りつけてください。  
急ブレーキのときなどに転がって乗員にぶつかりケガをするおそれがあります。
- 走行中はキャリーハンドルがドライビングポジションで固定されている状態で使用してください。  
衝撃が加わったときなどに安全性能を発揮できなくなります。
- リニア・サイドインパクト・プロテクションはカチッと音がするまで引きだして固定されたことを確認してから使用してください。
- 本製品を中央席で使用するときも、リニア・サイドインパクト・プロテクションを折り畳んで使用しないでください。リニア・サイドインパクト・プロテクションを折りたたんだ状態で使用することは、承認されていません。
- 本製品に対応していないベビーカーには取り付けをしないでください。  
走行時にベビーカーが転倒したり、本製品が落下したりしてお子様がケガをする恐れがあります。
- 本製品をベビーカーに取りつけて使用するときには、本製品がベビーカーにしっかりと固定されていることを確認してください。  
走行中に本製品が転落したり、ベビーカーが転倒しお子様や周囲の人に傷害を及ぼすおそれがあります。
- 本製品を装着した車が事故にあったときや、落下の衝撃を与えたときは、すぐに使用を中止し、チャイルドシートの点検を受けてください。  
チャイルドシートが目に見えないダメージを受けている可能性があり、本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。
- 安全ベルトを本体から取りはずすことはできません。安全ベルトの各パーツを無理に本体から取りはずすことはしないでください。  
安全ベルトが破損したりして本来の安全性能を発揮できなくなります。
- カバーやパッドを取りつけるときに、肩ベルトをねじらないでください。
- 車内の鞆や小物等の荷物は安全に固定・収納してください。  
事故・急ブレーキのときなどに、乗員にぶつかりケガをするおそれがあります。

### (専用ベースを使用して取りつける場合)

- 走行前にシートロックインジケータが「緑色」になっていることを必ず確認してください。インジケータが「赤色」になっているときは走行しないでください。
- 走行中に本製品の取り付けや取りはずしの操作やシートベルトの調整をしないでください。  
急ブレーキのときなどに転がってお子様や乗員が思わぬケガをするおそれがあります。

## (シートベルトを使用して取りつける場合)

- 本製品を取りつけたあと、車の座席のリクライニング・折りたたみ・スライドなどの操作はしないでください。

シートベルトがゆるんだりお子様が圧迫されるおそれがあります。

- 走行中に本製品の取り付けや取りはずしの操作、シートベルトの調整をしないでください。

急ブレーキのときなどに転がってお子様や乗員が思わぬケガをするおそれがあります。

- 走行中に本製品を膝の上でかかえることは決してしないでください。また本製品を抱えたまま、ご自身と同じシートベルトで拘束することは決してしないでください。

衝撃が加わったときにお子様は投げ出されるなどして、お子様や同乗者がケガをするおそれがあります。

## (航空機の座席に取りつける場合)

- 飛行中にお子様を適切に保護するために、必ず取扱説明書に記載されている方法に従い本製品を使用してください。

- 本製品の2点式ベルト固定は、航空機でのみ許可されています。

- 本製品の航空機への持ち込み前に、チャイルドシートの機内使用および各航空会社が定める安全規則について、必ず事前に各航空会社に問合せ、確認してください。

- 本製品は、航空会社によって指定され、飛行進行方向を向いている座席にのみ設置してください。

- 航空機での使用中は、本製品のキャリーハンドルが常に直立位置にあることを確認してください。

- 飛行中は、シートベルト着用サインがオフになっている場合やお子様は座っていない場合でも、本製品は常に固定してください。

乱気流や緊急着陸などで発生した揺れなどにより本製品が外れ、他の乗客を傷つける可能性があります。

## その他の注意事項

- 修理、改造は絶対にしないでください。

本来の安全性能を発揮できなくなります。

- 本製品専用のシートカバーを必ず使用してください。専用のシートカバー以外は使用しないでください。

本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。替えのカバーの販売は弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

- 本製品の掃除・洗浄に化学薬品を使用しないでください。

材料が劣化して事故の際などに破損するなどして本来の安全性能が発揮できなくなります。

- 屋外、高温・高湿な場所に本製品を長期間放置しないでください。

パーツが劣化し、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。

- 直射日光の当たる屋外、高温な場所に本製品を放置しないでください。

チャイルドシートのバックルが直射日光などで熱を持ち、それに触れてヤケドするおそれがあります。



## 注意

### 車への取り付け時の注意事項

- チャイルドシート及び専用ベースの取り付け/取りはずしは、付近にお子様がいらない状態で行ってください。  
チャイルドシートなどにお子様の身体がはさまったりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。
- 車に取りつける前に、車の座席のリクライニングが正しく固定されていることを確認してください。  
後ろ向きで使用する場合、事故の際などに車の座席が倒れてお子様に当たり、お子様がケガをするおそれがあります。
- 専用ベースの取り付け/取りはずしは、専用ベースのISOFIXコネクタを収納した状態でおこなってください。  
ISOFIXコネクタで車の外装や座席を傷付けるおそれがあります。

### 使用時の注意事項

- 本取扱説明書は必ずお読みになり、いつでも確認ができるよう本体の取扱説明書収納ポケットに保管をしてください。
- キャリーハンドルを調整するときは、リニア・サイドインパクト・プロテクションを収納してから調整してください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクション破損する場合があります。
- お子様をチャイルドシートに乗せてチャイルドシートの調整を行うときは、お子様の身体がはさまったりぶつかったりしないように行ってください。
- お子様を長時間座らせたままにしないで、適宜本製品から降ろして休憩させてください。
- 肩ベルトの長さを調整するときにはショルダーパッドを引っ張らず、左右の肩ベルトを同時に引っ張ってください。
- 肩ベルトは、締めつけない程度にお子様の体にぴったりと密着するように調節してください。

- 車に取りつけるときは、座席とチャイルドシートの上に毛布、タオル、チャイルドシート保護マット(別売)などを敷いてください。  
ISOFIXコネクタで車の座席を傷つけたり、車の座席にチャイルドシートの取り付け跡が残るおそれがあります。
- 本製品を車から取りはずす前に、リニア・サイドインパクト・プロテクションを収納してください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクションが破損したり、車を傷つけるおそれがあります。

- リニア・サイドインパクト・プロテクションを出したままシートを取りつけたり、取りはずしたりしないでください。  
車の内装を傷つけるおそれがあります。
- 本製品のシートを回転させるときには、お子様や同乗者に注意しながら行ってください。  
回転の際にお子様や同乗者にぶつかる、手足の指を挟むなどケガをするおそれがあります。
- お子様をチャイルドシートに乗せてチャイルドシートの調整を行うときは、お子様の身体がはさまったりぶつかったりしないように行ってください。

### その他の注意事項

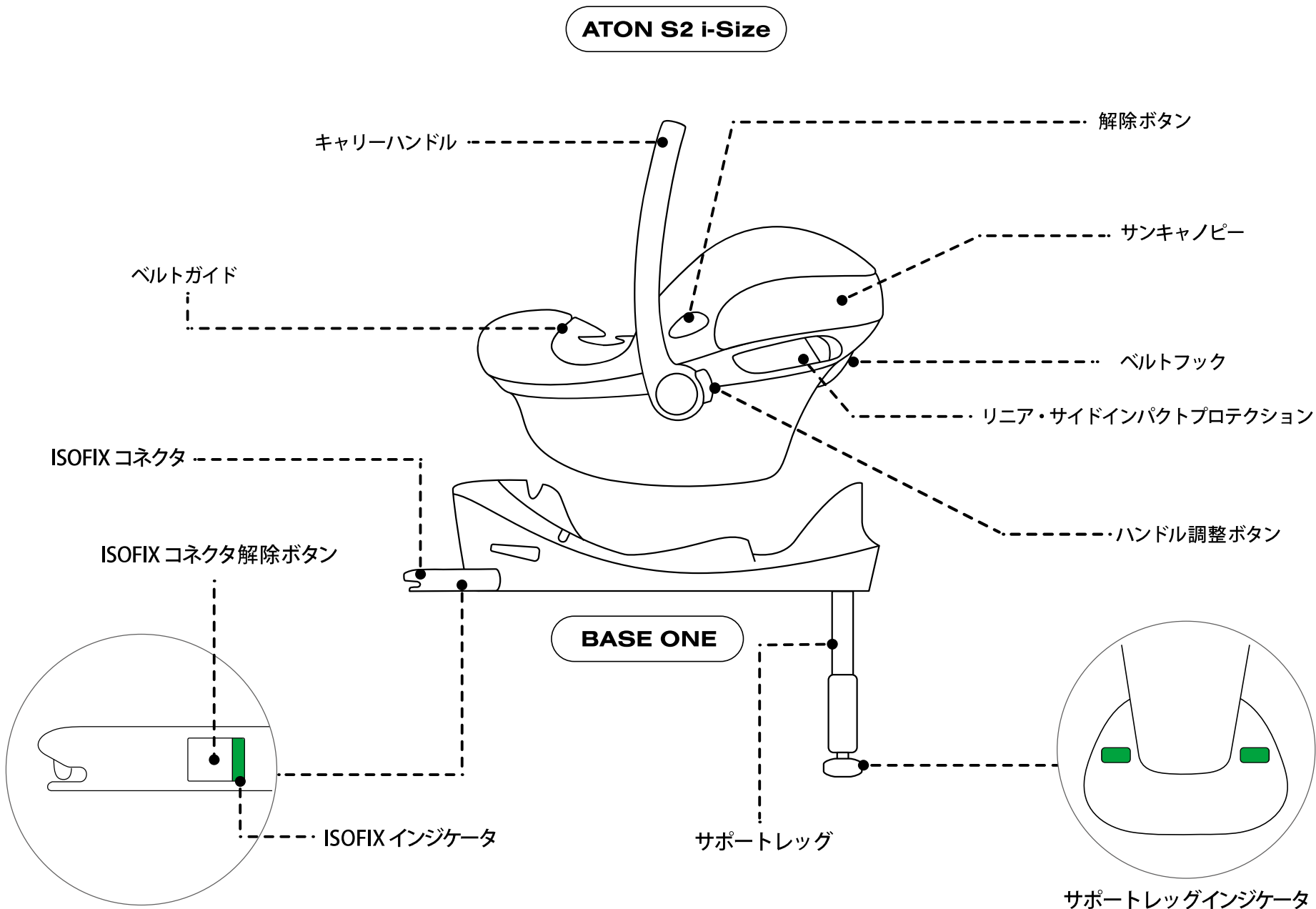
- 本製品を保管するときは、お子様の手の届かないところに保管してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

# 各部の名称

お使いいただく前に

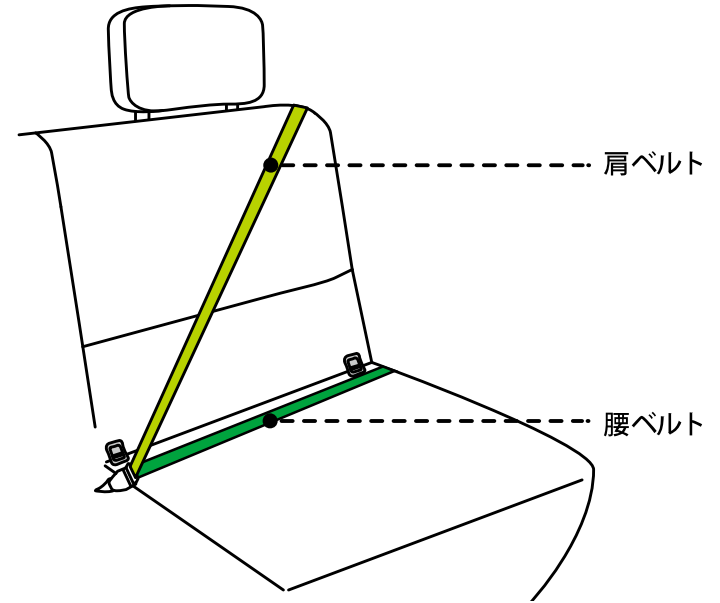
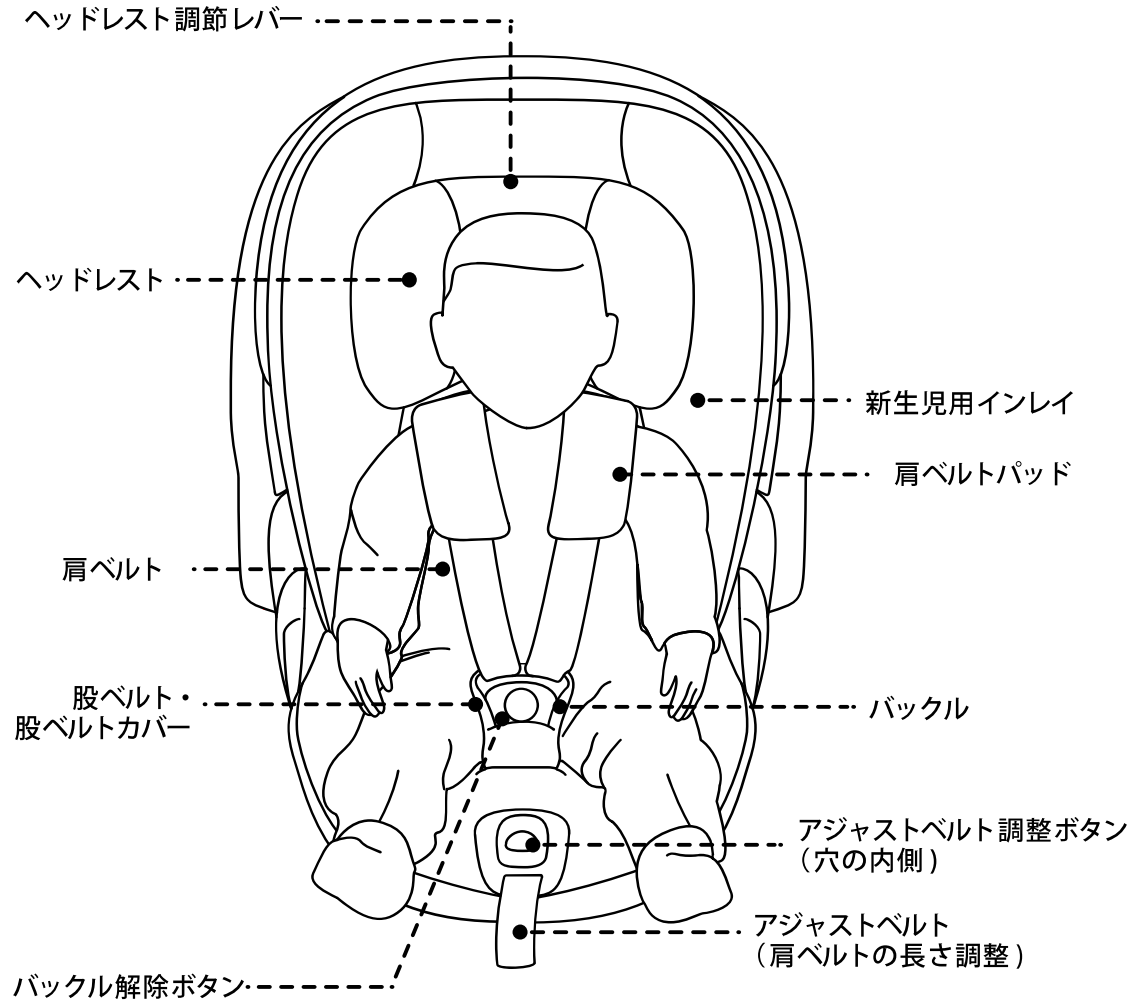
13

各部の名称





シートベルト各部名称

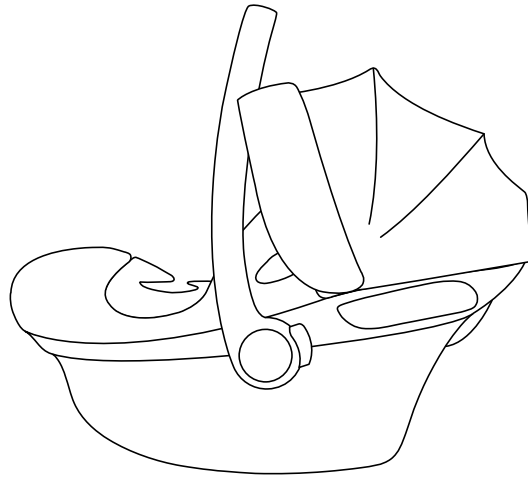


# 同梱品を確認する

## 警告

### 開梱時の注意事項

- 梱包等に使用されているビニール袋を、お子様に触らせないでください。  
お子様がビニール袋に顔を入れて窒息するおそれがあります。



本体



取扱説明書（本書）





### 警告

#### 車への取り付け時の注意事項 (共通)

- 本製品は、フロントエアバッグのある座席には取り付けないでください。  
エアバッグが作動した場合の衝撃によりお子様に強い力が加わりケガをするおそれがあります。
- 本製品を例外的に助手席に取り付けるときには、次の事項を必ず守り使用してください。
  - 1) 助手席に ISOFIX が装備されているかを確認してください。
  - 2) フロントエアバックを必ず解除してください。解除ができない助手席での使用は禁止されています。
  - 3) 車のシートを最も後ろまでスライドさせて使用してください。  
事故時の衝撃でお子様がダッシュボードにぶつかるおそれがあります。
- 本製品を車の進行方向に対して、後ろ向き、横向きの座席に取り付けしないでください。
- 本製品は進行方向に対して後ろ向き(お子様の足が車の背もたれの方向に向く)で車のシートに取り付けてください。それ以外の向き(横向きや前向きなど)に取り付けしないでください。
- 車に取りつける前やお子様を乗せる前に、チャイルドシートに異常や破損がないか確認してください。  
異常や破損がある場合には使用を中止し、販売店に連絡してください。
- 車の背もたれがリクライニングできる場合は、一番起こした状態でロックされたことを確認して取り付けてください。背もたれをリクライニングさせた状態で取り付けしないでください。
- 本製品をリクライニングポジションで車に取り付けることはできません。車に取りつける前に、必ずシッティングポジションにもどし、ベルトガイドのロックが解除されていることを確認してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- 本製品を取りつける座席の座面には何も置かないでください(座席保護のための毛布、タオル、チャイルドシート保護マット(別売)などは除く)。  
本製品が正しく装着されずに、衝撃が加わったときなどにはずれのおそれがあります。
- 本取扱説明書に従っても適切に取り付けができないシートには、本製品を取り付けしないでください(車のシートが小さい、シートベルトが短いなど)。

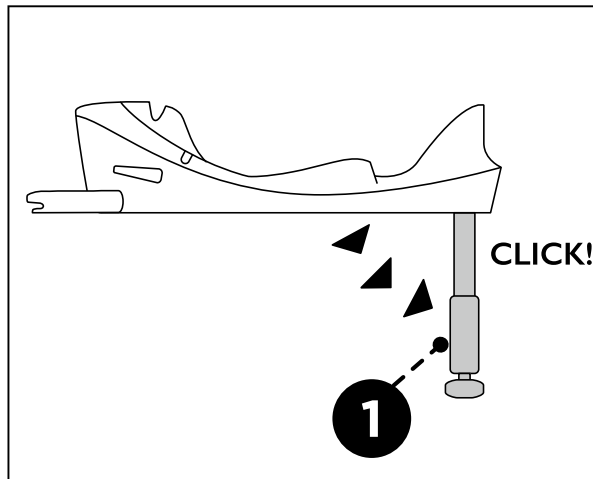
 **警告****(専用ベースを使用して取りつける場合)**

- 専用ベースを使用するときは、全ての梱包材をはずした上で使用してください。  
本製品が正しく固定されず、衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- 専用ベースを取りつける座席の足元には何も置かないでください。  
物がぶつかりレッグサポート等が破損して、安全性能を発揮できなくなります。
- 専用ベースのサポートレッグと床面の間には何も置かず、サポートレッグが直接車の床面に接するよう装着してください。サポートレッグインジケータが「緑色」になり警告音が止んでいることを確認してください。
- 専用ベースのサポートレッグが接する底面に収納機能がある場合は、装着しないでください。  
車両構造上問題がある場合には、自動車メーカーに相談してください。
- サポートレッグを折りたたんだまま、専用ベースを車の座席に取りつけないでください。
- 本製品を専用ベースに取りつけた時は、ベースのシートロックインジケータが「緑色」になり、しっかりと固定されていることを確認してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- ISOFIX コネクタは、汚れや異物詰まりなどがない清潔な状態を保ってください。  
ISOFIX が正しくロックされずに、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できなくなります。

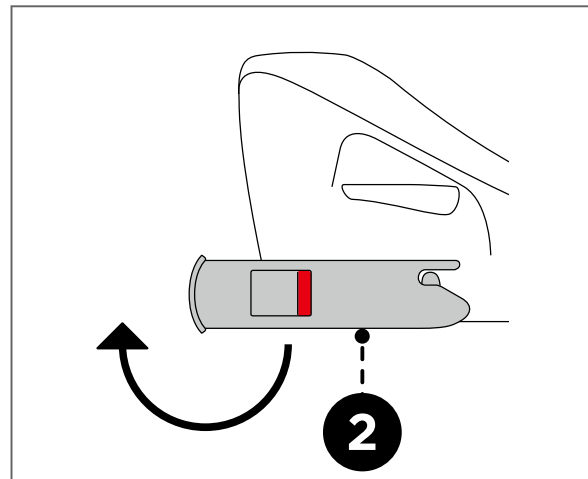
 **注意****車への取り付け時の注意事項**

- チャイルドシート及び専用ベースの取り付け/取りはずしは、付近にお子様がない状態で行ってください。  
チャイルドシートなどにお子様の身体がはさまったりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。
- 車に取りつける前に、車の座席のリクライニングが正しく固定されていることを確認してください。  
後ろ向きで使用する場合、事故の際などに車の座席が倒れてお子様に当たり、お子様がケガをするおそれがあります。
- 車に取りつけるときは、座席とチャイルドシートの上に毛布、タオル、チャイルドシート保護マット(別売)などを敷いてください。  
ISOFIX コネクタで車の座席を傷つけたり、車の座席にチャイルドシートの取り付け跡が残るおそれがあります。
- 専用ベースの取り付け/取りはずしは、ベースの ISOFIX コネクタを収納した状態でおこなってください。  
ISOFIX コネクタで車の外装や座席を傷付けるおそれがあります。

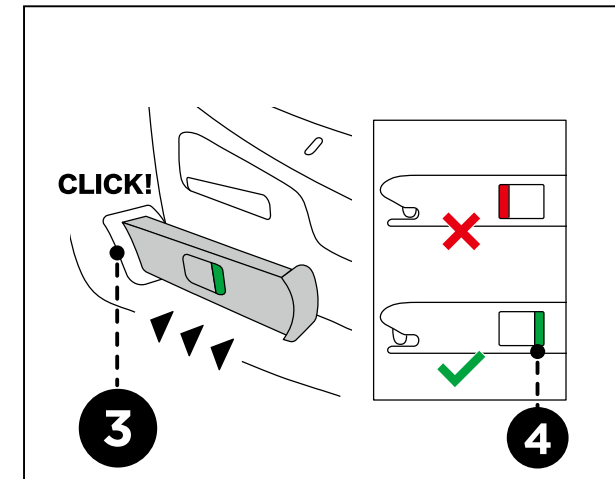
## ISOFIX コネクタを接続する



サポートレッグがカチッとロックされるまで広げます(①)。本体を車のシートに平行に置きます。

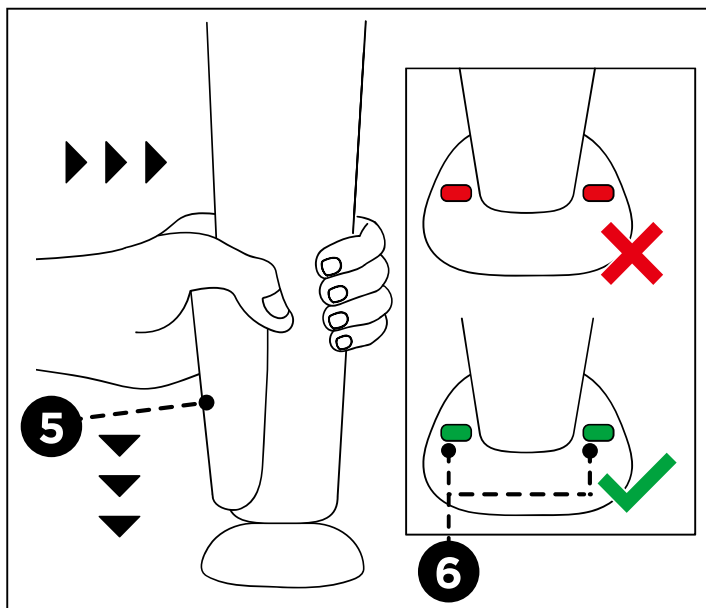


ISOFIX コネクタを回転させます。(②)



ISOFIX コネクタ(②)を車のロアアンカレッジ固定金具(③)に差込みます。ISOFIX インジケータ(④)が緑色に変わっていることを確認してください。

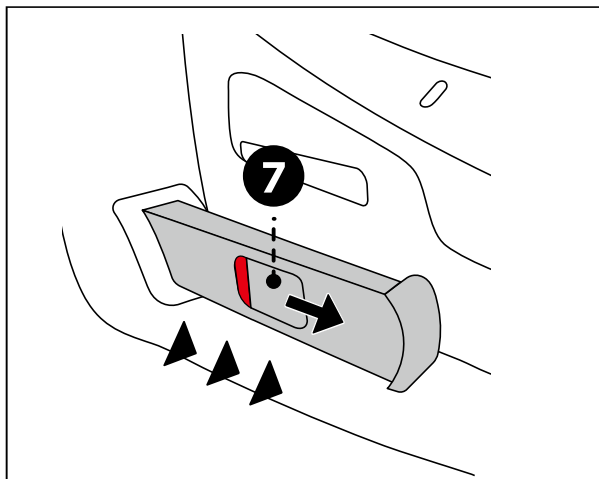
## サポートレッグを設置する



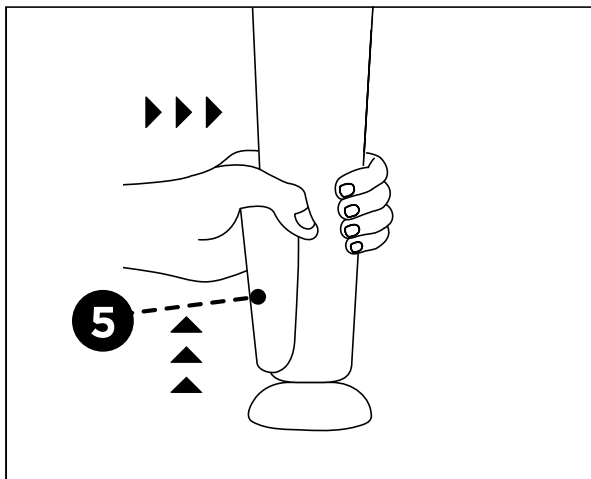
サポートレッグ調節ボタン(⑤)を押しながら、サポートレッグが車の床に設置するよう長さを調節し、調節ボタンが元の位置に戻りカチッとロックされたことを確認します。サポートレッグが車の床に正しく設置されると、サポートレッグインジケータ(⑥)に「緑色」が表示されます。

車から取りはずす

取り付けるときと逆の操作をしてください。



ISOFIX コネクタ解除ボタン(⑦)を上記の矢印の方向に、指でインジケータが赤色に変わるまで戻し、本体を引き抜きます。



サポートレッグ調節ボタン(⑤)を押しながら、サポートレッグを上方へ収納します。

# シートベルトを使用する

## 警告

### (シートベルトを使用して取りつける場合)

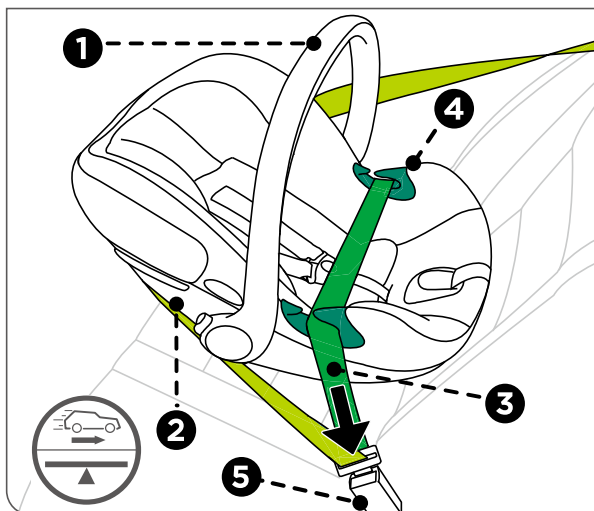
- 本製品をシートベルトで固定する場合は、ECER16又は同等の基準で許可された「緊急ロック式巻き込み装置機能付き3点式シートベルト」を装備した座席でのみ使用することができます。それ以外のシートベルトでは本製品を使用しないでください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。また、事故の際、お子様や同乗者にぶつかりケガをするおそれがあります。
- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトが破損していたり正しく機能していない座席には本製品を取りつけないでください。
- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトバックルのベルト部分が長過ぎて、バックルが本製品のベルトガイド部分に達してしまう座席には取りつけないでください。
- シートベルトにねじれやたわみがないか確認をしてください。
- 本製品をヒモやテープなどのシートベルト以外のもの固定しないでください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、ヒモやテープがお子様絡まり窒息するおそれがあります。
- 本製品をシートベルトで固定するときは、シートベルトの肩ベルト部分がベルトガイドとベルトフックに正しく通って固定されているか確認してください。
- リア・サイドインパクト・プロテクションを使用して本製品を車に取りつけないでください。
- 本製品を取りつける座席の座面には何も置かないでください(座席保護のためのブランケット、タオル、チャイルドシート保護マット(別売)などは除く)。  
正しく装着されず、衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- 本製品を取りつけ/取りはずしするときは、ドアやウインドウなどに挟まったり、打つたりしないように注意し、両手でしっかりと支えて行ってください。  
衝撃で本製品が破損したり、お子様をのせたチャイルドシートが転落するおそれがあります。

## 注意

### 車への取り付け時の注意事項

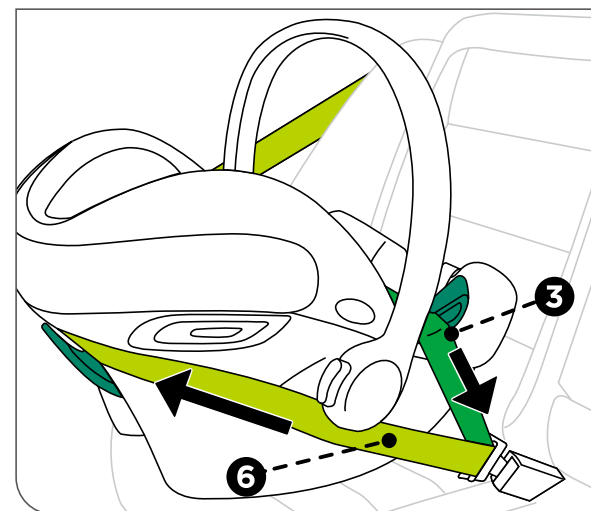
- チャイルドシート及び専用ベースの取り付け/取りはずしは、付近にお子様がない状態で行ってください。  
チャイルドシートなどにお子様の身体がはさまったりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。
- 車に取りつける前に、車の座席のリクライニングが正しく固定されていることを確認してください。  
後ろ向きで使用する場合、事故の際などに車の座席が倒れてお子様に当たり、お子様がケガをするおそれがあります。

## 車に取りつける

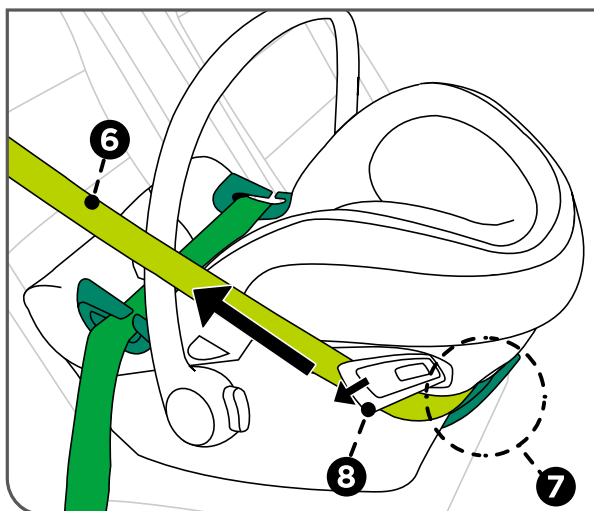


本製品を後ろ向きにして座席に置きます。キャリーハンドル(①)がキャリング・ドライビングポジションになっていることを確認し、本体の両脇(②)にあるセーフティステッカーの「線」が車の床面と平行になるように、置く角度を調整してください。

シートベルトを本製品の上に引き出します。シートベルトの腰ベルト(③)部分を本体左右にあるグリーンの左右のベルトガイド(④)に通します。シートベルトのタンクを車のシートベルトバックル(⑤)に差込みます。



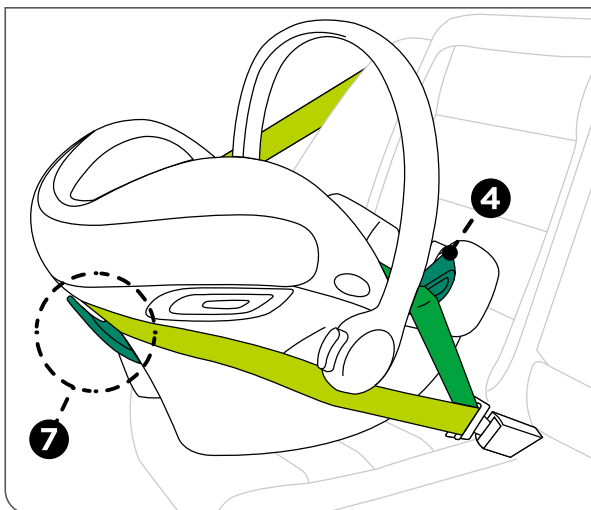
シートベルトの肩ベルト部分(⑥)を車の進行方向(矢印の方向)に向かって引っ張り、腰ベルト部分(③)をしっかり締めます。



肩ベルトを、リニア・サイドインパクト・プロテクションの下を通して、本体の頭部後方へ囲うようにして取り回し、肩ベルトを背面のベルトフック(⑦)に挟み込みます。

リニア・サイドインパクト・プロテクション(⑧)を開きます。肩ベルト(⑥)を、リニア・サイドインパクト・プロテクションの下を通して矢印の方向に引っ張りしっかりと締めます。

車から取りはずす



車の安全ベルトのバックルを外して、腰ベルトを左右の腰ベルトガイド(④)から取りはずします。車のシートベルトをのベルトフック(⑦)からはずします。リニア・サイドインパクト・プロテクションを収納します。

# キャリーハンドルを調節する

## 警告

### 使用時の注意事項

- 走行中はキャリーハンドルがドライビングポジションで固定されている状態で使用してください。  
衝撃が加わったときなどに安全性能を発揮できなくなります。
- 車の外で本製品にお子様を座らせるときは平らな場所で行い、キャリーハンドルがシッティングポジションで固定され、本製品の底面が安定したことを必ず確認してください。  
不安定な状態でお子様の乗せ降ろしを行うと、お子様が思わぬケガを負うおそれがあります。

## 注意

### 使用時の注意事項

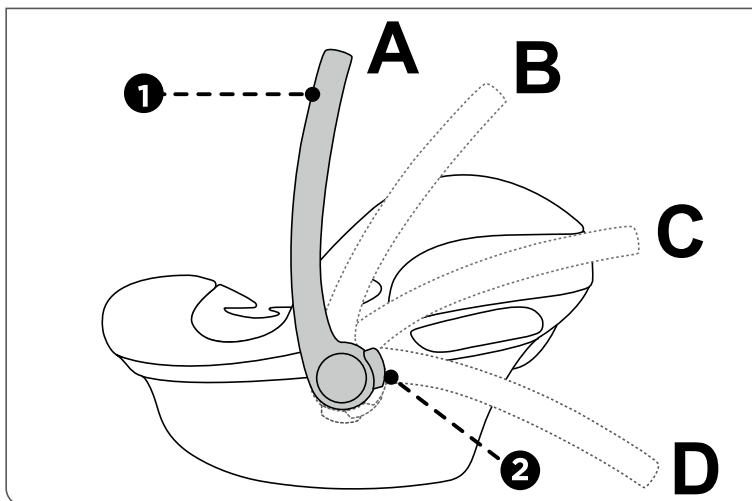
- キャリーハンドルを調整するときは、リニア・サイドインパクト・プロテクションを収納してから調整してください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクション破損する場合があります。

## POINT!

4つのいずれかのポジションにキャリーハンドルを合わせると、「カチッ」という音がしてハンドル調整ボタンが飛び出して元にもどり、キャリーハンドルが固定されます。

本製品のキャリーハンドルは用途に合わせて、3つのポジションに調整する必要があります。

<b>A</b>	キャリングポジション / ドライビングポジション	本製品を持ち運ぶとき / チャイルドシートとして使用するとき
<b>B/C</b>	乗せ降ろしポジション	お子様をシートに乗せ降ろしするとき
<b>D</b>	シッティングポジション	車の外でベビーシートを床に置いてお子様を安全に座らせるとき



キャリーハンドル(①)の付け根の両端にあるハンドル調整ボタン(②)を、両手で同時に押します。ハンドル調整ボタン(②)を押しながら、キャリーハンドル(①)を前後に動かして希望のポジションに調整します。



# お子様を座らせる

## 警告

### 使用時の注意事項

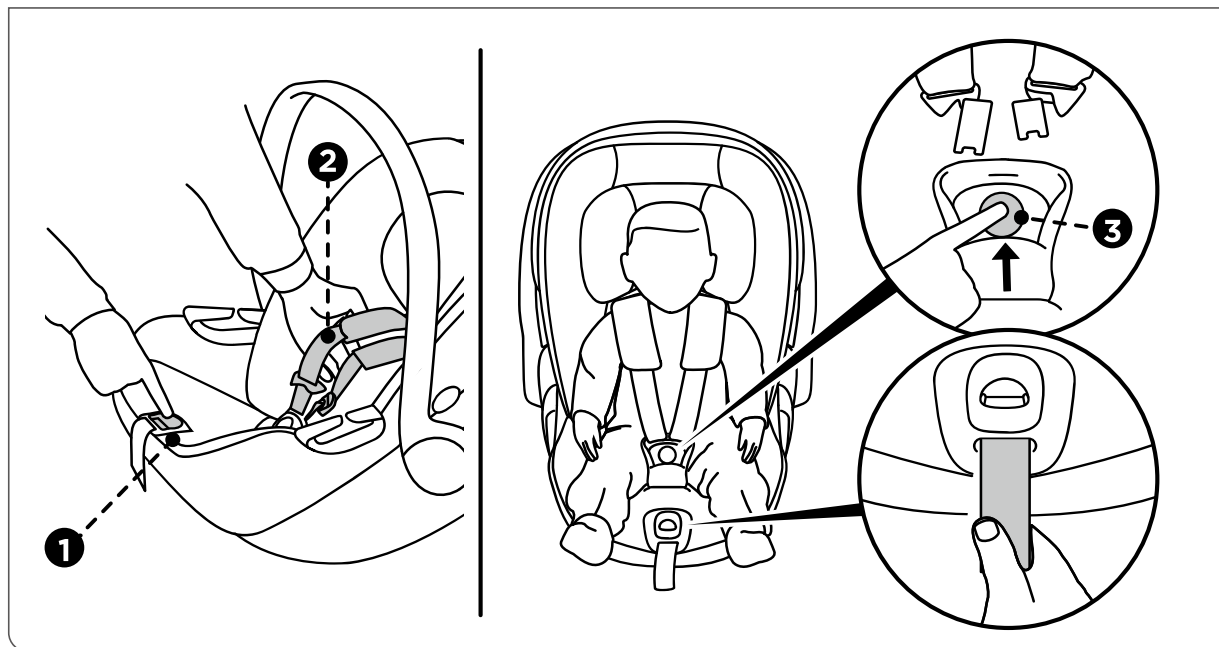
- 本製品は1人乗り専用のチャイルドシートです。本製品に1人以上で座らせないでください。  
衝撃が加わったときに安全性能を発揮できなくなったり、お子様や同乗者に重大な傷害をおよぼす恐れがあります。
- 車の外で本製品にお子様を座らせるときは平らな場所で行い、キャリーハンドルがシッティングポジションで固定され、本製品の底面が安定したことを必ず確認してください。  
本製品が不安定な状態でお子様の乗せ降ろしを行うと、お子様が転倒して思わぬケガを負うおそれがあります。

- 本製品の上やまわりに、おもちゃなど固いものがない状態で使用してください。  
お子様がケガを負うなど思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしをしないでください。  
急ブレーキのときなどに転がってお子様が悪影響を受けるおそれがあります。
- 本製品を以下のような固定できない高い場所や不安定な場所に置いて、お子様をシートに座らせたまま決して目を離さないでください。  
\* テーブル、椅子、ソファ、ベッド、ベンチ、おむつ台、荷物棚、車の屋根などの固定できない高い場所  
\* 自転車、ショッピングカート、非対応のベビーカー、電車やバスの座席などの不安定な場所本製品が転落し、お子様や周りの人が思わぬケガを負うおそれがあります。

## 注意

### 使用時の注意事項

- お子様をチャイルドシートに乗せてチャイルドシートの調整を行うときは、お子様の身体がはさまったりぶつかったりしないように行ってください。
- お子様を長時間座らせたままにしないで、適宜本製品から降ろして休憩させてください。



アジャストベルト調整ボタン(①)を押し下げながら左右の肩ベルトを同時に引っ張り緩めます(②)。

バックル解除ボタン(③)を押してバックルを解除し、お子様をシートに深く座らせ、安全ベルトを軽くかけます。

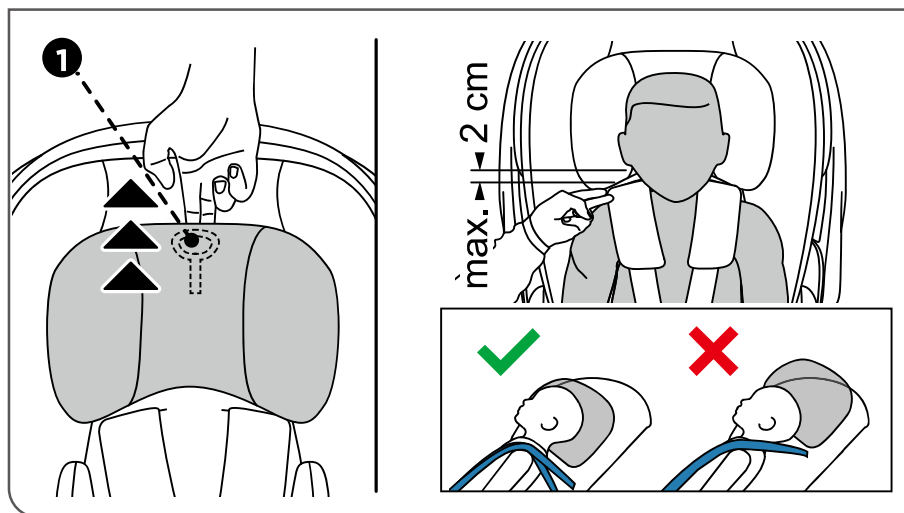
## ヘッドレストを調整する

### 警告

#### 使用時の注意事項

- ヘッドレストはお子様の体格に合わせて、正しい位置に調整した上で使用してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。

- ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。  
本来の安全性能を発揮できなくなります。



ヘッドレストの上部にある調整レバー(①)を上下に動かし、ヘッドレストを必要な高さに調整してください。

#### POINT!

ヘッドレストはお子様の肩から上に指2本分の高さに調整します。(最大2cm)

ヘッドレスト 11段階に調整できます。

# 安全ベルトを使う

## 警告

### 使用時の注意事項

- 安全ベルトは、カチッというまでバックルに差し込み、正しく固定された状態で使用してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。また、お子様が本製品から転落するおそれがあります。
- 肩ベルトはヘッドレストと連動して高さが調整されます。ヘッドレストが正しい位置で固定されているかを確認してください。  
衝撃が加わったときなどに安全性能を発揮できなくなります。
- 安全ベルトはゆるみやねじれなどがない状態で使用してください。  
衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。
- 安全ベルトはお子様の体格や服装などに合わせて、乗車の都度、調整してください。  
衝撃が加わったときなどに安全性能を発揮できなくなります。
- 安全ベルトの固定バックルは、汚れや差込口内部の異物詰まりなどがない清潔な状態を保ってください。  
安全ベルトが正しくロックされずに、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できなくなります。

## 注意

### 使用時の注意事項

- 肩ベルトの長さを調整するときにはショルダーパッドを引っ張らず、左右の肩ベルトを同時に引っ張ってください。
- 肩ベルトは、締めつけない程度にお子様の体にぴったりと密着するように調節してください。

### 安全ベルトを締める

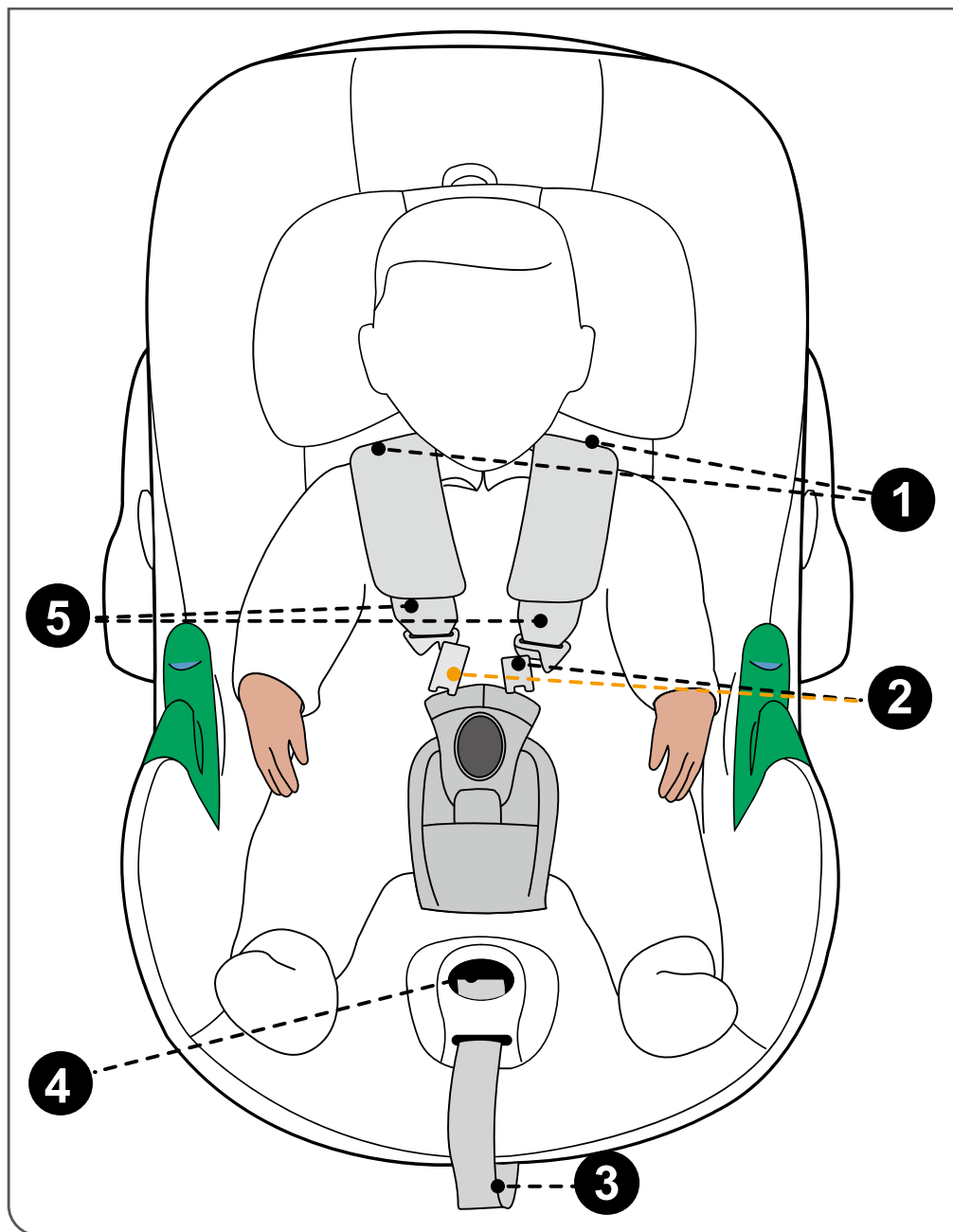
ヘッドレストの位置が正しいかを確認し(P.28参照)  
肩ベルト(①)をお子様の肩にしっかりと合わせます。

肩ベルトの先端の差し込みタンク(②)を左右重ねて、カチッと音がするまでバックルに差し込みます。

お子様の鎖骨とベルトの間に指が1本はいる程度に、肩ベルトがお子様の体にフィットするまで、アジャストベルト(③)を引っ張り調整します。

### 安全ベルトを緩める

アジャストベルトの上の穴の中の、アジャストベルト調整ボタン(④)を押し下げながら、左右の肩ベルト(⑤)を同時に引き出し、ゆるめます。



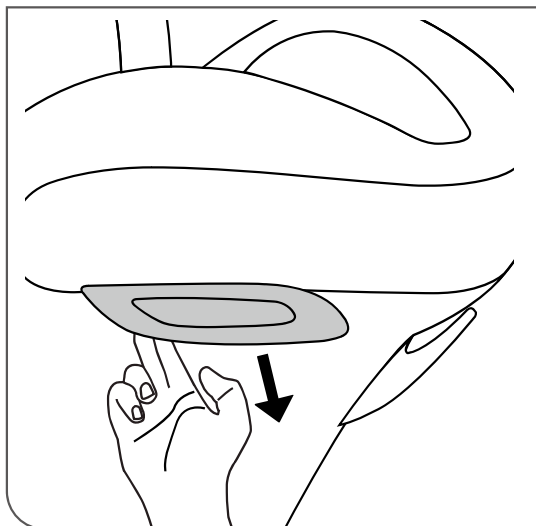
# リニア・サイドインパクト・プロテクションを使う

## 警告

### 使用時の注意事項

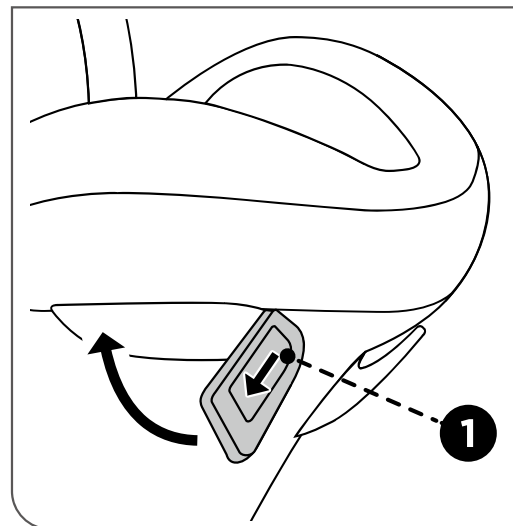
- リニア・サイドインパクト・プロテクションは引きだして固定されたことを確認してから使用してください。  
衝撃が加わったときなどに安全性能を発揮できなくなります。
- 本製品を中央席で使用するときは、リニア・サイドインパクト・プロテクションを引き出して使用しないでください。  
事故・急ブレーキのときなどに、乗員にぶつかりケガをするおそれがあります。
- リニア・サイド・インパクトプロテクションを使って、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクションが破損し転倒したり、落下したりするおそれがあります。

### 引き出す



リニア・サイドインパクト・プロテクションを外側に引き出します。

### しまう



しまうときは、ボタン(①)を押しながら元の位置に戻します。

### POINT!

リニア・サイド・インパクト・プロテクションを引き出し、ドアや窓に接する(又は近づける)事により、衝突物との接触ポイントをお子様の身体から、より遠く(より早く)し、チャイルドシート本体の頭部・肩部と連動して、側面からの衝撃を「逃がす・分散する」事によってお子様を守ります。

## 専用ベースにチャイルドシートを取りつける

### ⚠ 警告

#### 車への取り付け時の注意事項

- チャイルドシートをベースに取りつけた時は、シートロックインジケータが「緑色」になり、ベースにしっかりと固定されていることを確認してください。衝撃が加わったときなどにはずれたり、安全性能を発揮できなくなります。

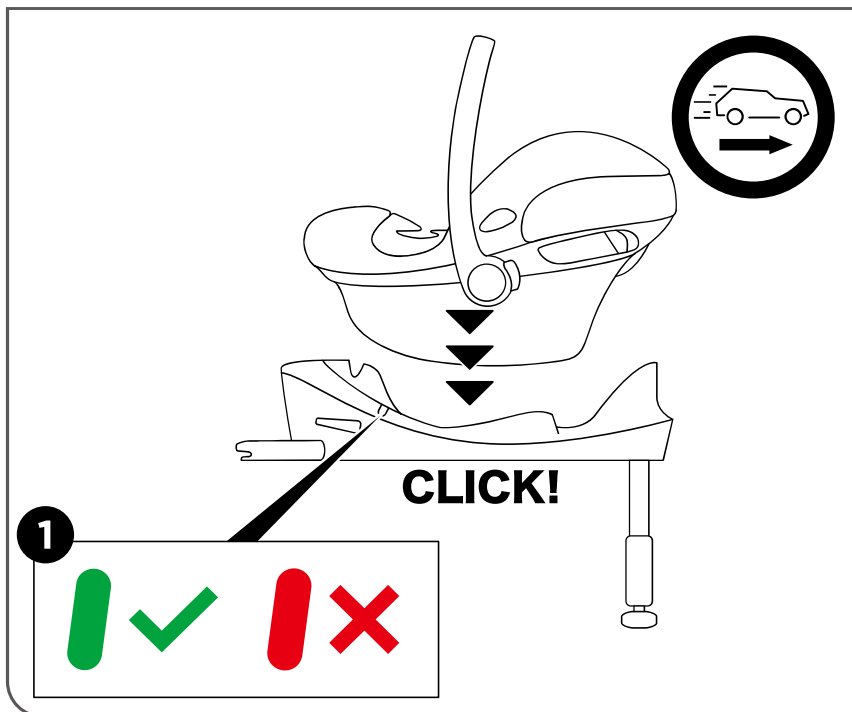
### ⚠ 注意

#### 使用時の注意事項

- リニア・サイドインパクト・プロテクションを出したままチャイルドシートを取りつけたり、取りはずしたりしないでください。車の内装を傷つけるおそれがあります。

Aton S2 i-Size を取りつける前に、ベースの表面に何も物が置かれていないことを確認してください。

### 専用ベースに取りつける



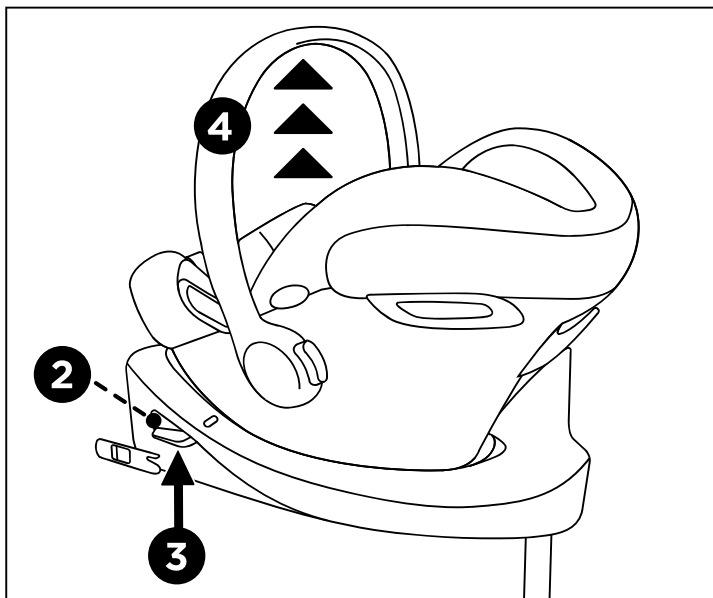
車の進行方向に対し、後向きに装着してください。キャリーハンドルがドライビングポジションになっていることを確認してください。

専用ベースにある固定フックがカチッと音がしてロックされたことを確認してください。

チャイルドシートロックインジケータ (①) が緑色になっていることを確認してください。

インジケータが「緑色」になっていない場合は、チャイルドシートが正しくロックされていません。必要ならば、チャイルドシートの取り付け手順を繰り返してください。

専用ベースから取りはずす



- ①左右どちらかのチャイルドシートリリースボタン(②)を矢印の方向に押し上げながら、(③)
- ②チャイルドシートを上方へ持ち上げて、ベースから取りはずします。(④)

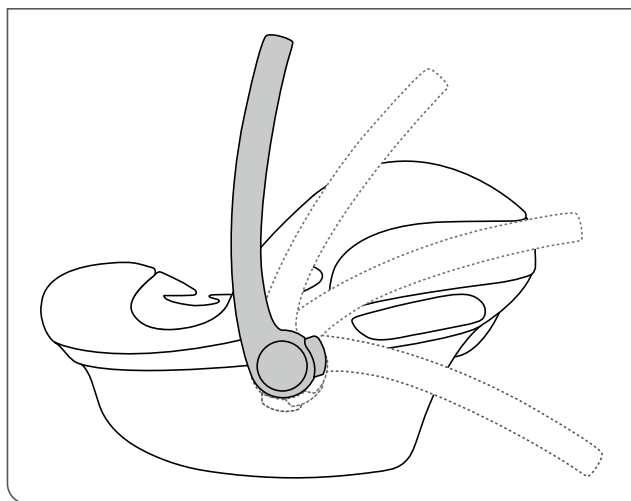


## お子様を乗せて持ち運ぶ

### 警告

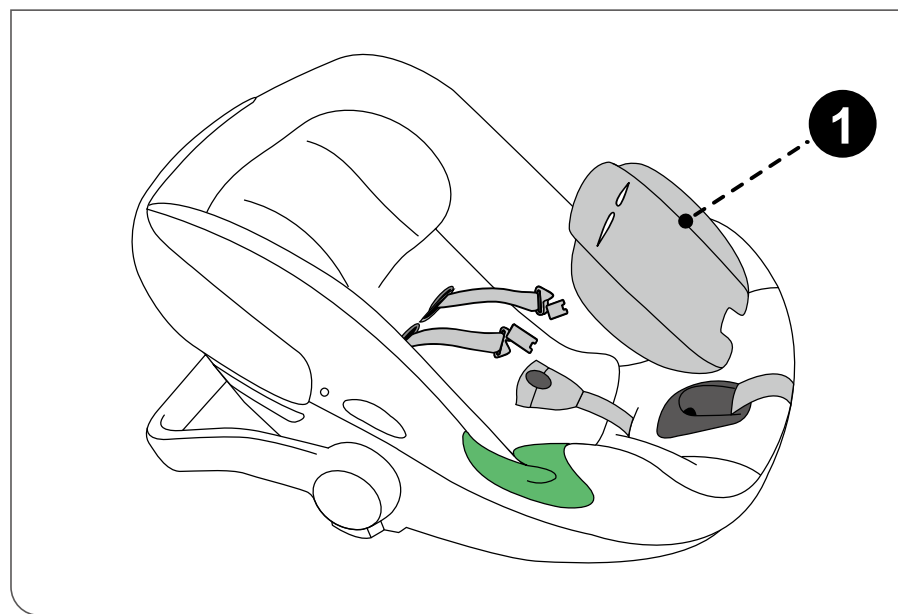
#### 使用時の注意事項

- 本製品にお子様を座らせて持ち運ぶときは、キャリーハンドルがキャリングポジションで固定されていることを確認してください。  
持ち上げたときにシートが傾いたり、ひっくり返ったりしてお子様が悪転落するおそれがあります。
- 本製品にお子様を座らせて持ち運ぶときは、キャリーハンドルを手で握りしっかり支えて持ち運んでください。  
片腕や肩にかけて持ち運んだりすると、お子様が悪転落するおそれがあります。
- リニア・サイドインパクト・プロテクションを使用して、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
リニア・サイドインパクト・プロテクションが破損し落下するおそれがあります。
- サンキャノピーを使って、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
サンキャノピーが破損し落下するおそれがあります。



キャリーハンドルをキャリングポジションに調整し、固定されたことを確認します。キャリーハンドルを手で握りしっかりと支えて持ち上げます。

## 新生児用インレイをはずす



あらかじめセットされている新生児用インレイは、小さな赤ちゃんをサポートする為に設置されています。

新生児インレイ(①)は、お子様が61cm(生後3ヶ月頃)をすぎたら、取りはずして使用してください。

#### 【取りはずし方】

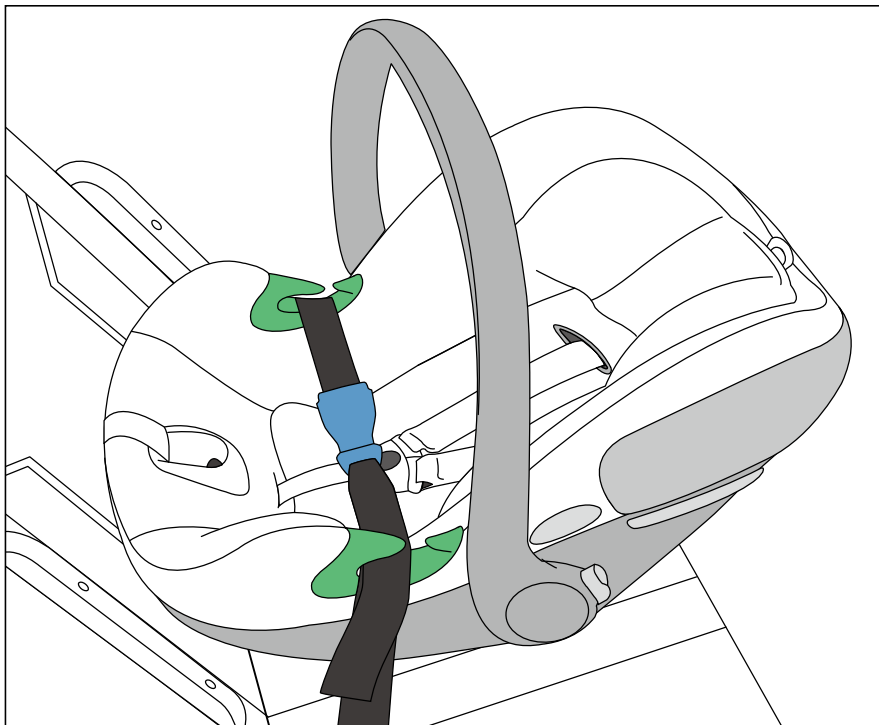
- 1) 肩ベルトのバックルをはずし、肩ベルトパッドを取り除きます。
- 2) 新生児用インレイ(①)をから肩ベルトを抜き取ります。
- 3) 肩ベルトパッドを肩ベルトに通しバックルを締めます。

# 航空機の座席に取りつける

## 警告

### 使用時の注意事項

- 飛行中にお子様を適切に保護するために、必ず取扱説明書に記載されている方法に従い本製品を使用してください。
- 本製品の2点式ベルト固定は、航空機でのみ許可されています。
- 本製品の航空機への持ち込み前に、チャイルドシートの機内使用および各航空会社が定める安全規則について、必ず事前に各航空会社に問合せ、確認してください。
- 本製品は、航空会社によって指定され、飛行進行方向を向いている座席にのみ設置してください。
- 航空機での使用中は、本製品のキャリーハンドルが常に直立位置にあることを確認してください。
- 飛行中は、シートベルト着用サインがオフになっている場合やお子様が生きている場合でも、本製品は常に固定してください。  
乱気流や緊急着陸などで発生した揺れなどにより本製品が外れ、他の乗客を傷つける可能性があります。



航空機の2点式ベルトをベルトガイドに通し、2点式ベルトのバックルを止め、緩みなく固定されるまで2点式ベルトを締めます。  
本製品は必ず飛行進行方向に対し後ろ向きに取りつけてください。

### NOTE!

本製品は「TUV (テュフ・ラインランド)」より航空機での使用が許可されています。本製品を航空機で使用を検討する前に、必ずご利用される各航空会社に問合せ、取り付け可否の確認を行ってください。

# ベビーカーに装着する

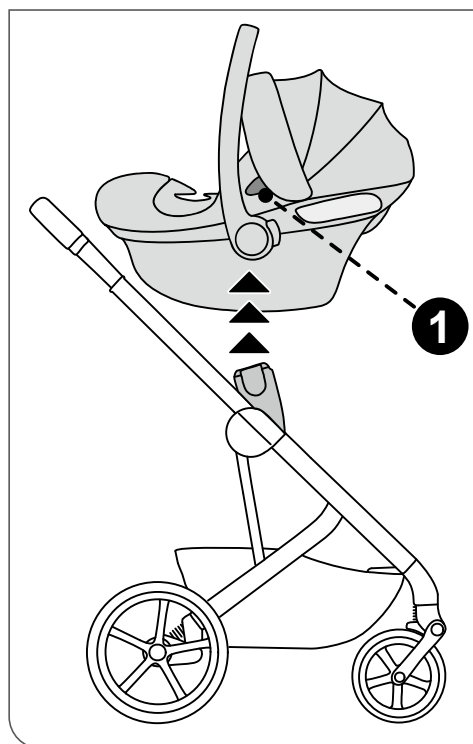
## 警告

### 使用時の注意事項

- 本製品に対応していないベビーカーには取り付けをしないでください。  
走行時にベビーカーが転倒したり、本製品が落下したりしてお子様ケガをする恐れがあります。
- サンキャノピーを使って、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。  
サンキャノピーが破損し転倒するおそれがあります。
- 本製品をベビーカーに取りつけて使用するときには、本製品がベビーカーにしっかりと固定されていることを確認してください。  
走行中に本製品が転落したり、ベビーカーが転倒しお子様や周囲の人に傷害を及ぼすおそれがあります。

本製品に対応したベビーカーであれば、専用アダプターを使用してベビーカーに装着し、トラベルシステムとして使用することができます。

\*本製品に対応したベビーカーについては、カスタマーセンターまでお問い合わせください。



### ベビーカーに取りつける

- ① ベビーカーに別売りの専用アダプターを取りつけます。  
取り付け方法は、別売りの専用アダプター取扱説明書ないしベビーカーの取扱説明書に従ってください。ベビーカーの進行方向に対して後ろ向き（お子様がベビーカーを操作する者と対面する向き）に取りつけます。
- ② 本製品のキャリアハンドルの根元部分にあるアダプター挿入口に、ベビーカーに取りつけたアダプターの差込部分を、左右同時に差し込みます。
- ③ 本製品をカチッと音がするまで押し込み、ロックされたことを必ず確認してください。

### ベビーカーから取りはずす

- ① 本製品の左右両側の解除ボタン(①)を同時に押します。解除ボタンを押しながら、本製品を両手でゆっくりと持ち上げ、アダプターから取りはずします。
- ② アダプターから本製品がはずれたら、キャリアハンドルに持ち替えて上方に持ち上げます。

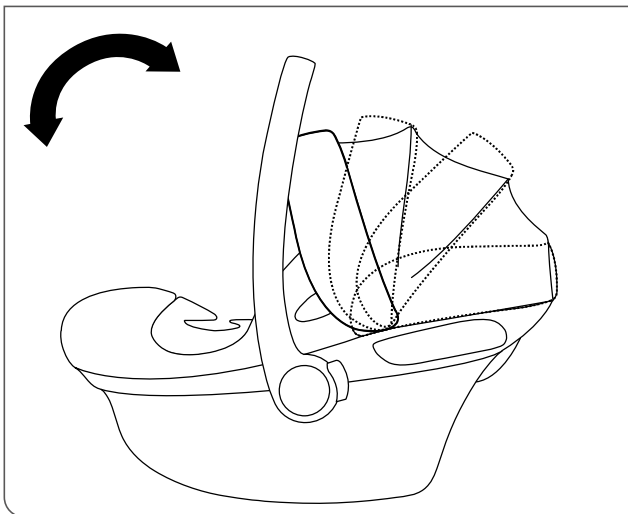
# サンキャノピーを使う

## ⚠ 警告

### 使用時の注意事項

- サンキャノピーを使って、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。

サンキャノピーが破損し落下するおそれがあります。



サンキャノピーを矢印の方向に引き出して広げます。  
お好みのポジションで使用できます。

## 警告

### 車への取り付け時の注意事項

- 本製品を車に取りつける前やお子様を乗せる前に、チャイルドシートに異常や破損がないか確認してください。  
本来の安全性能が発揮できなくなります。異常や破損がある場合には使用を中止し、販売店に連絡してください。

### 使用時の注意事項

- 本製品を装着した車が事故にあったときや、落下の衝撃を与えたときは、すぐに使用を中止し、チャイルドシートの点検を受けてください。  
チャイルドシートが目に見えないダメージを受けている可能性があり、本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。

### その他の注意事項

- 修理、改造は絶対にしないでください。  
本来の安全性能を発揮できなくなります。

## 日々の点検

お子様の最大限の安全を保証するために、ご使用の前に次のことを点検してください。

- 本製品のすべてのパーツが破損していないか必ず点検してください。
- 本製品の機械的なパーツが正常に機能しているか必ず点検してください。

## 事故にあったとき

- 本製品を装着した車が事故にあったときは、ただちに本製品の使用を中止し、製造元による製品チェックをうけてください。その後もそのまま本製品を使用すると、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品を落としたり、車のドアなどの硬いものにぶついたりした場合は、目に見えないダメージを受けている可能性があります。製造元による製品チェックをうけてください。

# 各部のクリーニング

## 警告

### 使用時の注意事項

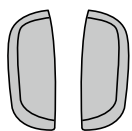
- 安全ベルトを本体から取りはずすことはできません。安全ベルトの各パーツを無理に本体から取りはずすことはしないでください。  
安全ベルトが破損したりして本来の安全性能を発揮できなくなります。
- カバーやパッドを取りつけるときに、肩ベルトをねじらないでください。  
本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。

### その他の注意事項

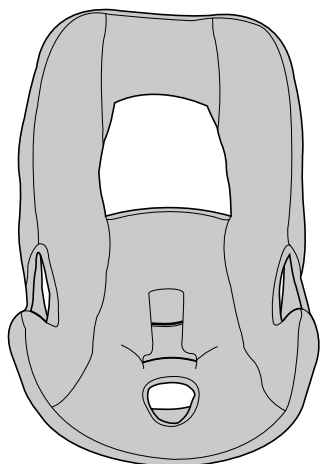
- 本製品専用のシートカバーを必ず使用してください。専用のシートカバー以外は使用しないでください。  
本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。替えのカバーの販売は弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の掃除・洗浄に化学薬品を使用しないでください。  
材料が劣化して事故の際などに破損するなどして本来の安全性能が発揮できなくなります。

## カバーを取りはずす

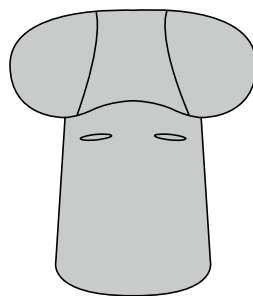
本製品のカバーは以下のパーツから成り立っています。次のページの手順に従って本体から取りはずしてください。



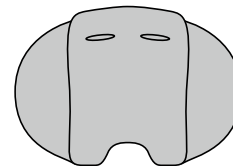
ショルダー  
ハーネスパッド



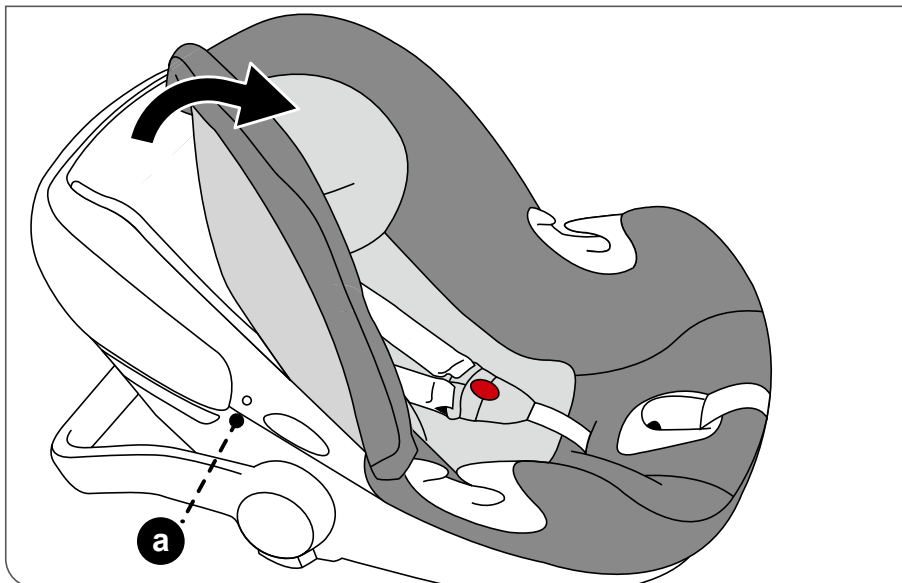
シートカバー



ヘッドレストカバー



新生児用インレイ



- ①バックル中央にある赤いボタンをしっかりと押してバックルを解除します。
- ②肩ベルトパッドを肩ベルトからはずします。
- ③新生児インレイから肩ベルトを抜き取ります。
- ④ヘッドレスト上部の縁からヘッドレストカバーを引き出し、取りはずします。
- ⑤ベルトタングと肩ベルトをヘッドレストカバーから抜き出します。
- ⑥ヘッドレストカバーを取りはずします。
- ⑦ボタン(●a)をはずします。
- ⑧股ベルトカバーを取りはずします。
- ⑧本体シートの縁からシートカバーを引き出し、取りはずします。

### カバーを取りつける

シートカバーを取りつけるときは、取りはずすときと逆の作業をおこなってください。

### 汚れを拭き取る

安全ベルトやプラスチックパーツの汚れは、布またはスポンジを水または薄めた中性洗剤でぬらし、よくしぼったのちに汚れを拭きとり、仕上げに乾いた布で水分を拭きとります。

## 耐用年数について

本製品は最大7年間使用していただくことを前提として設計されています。8年以上使用しないでください。しかし、8年未満でもお使いいただく環境によっては、チャイルドシートに予見できない負荷がかかる可能性があります。とくに次のようなことに注意してください。

●チャイルドシートを装着する車が長期間直射日光を浴びる場合は、チャイルドシートを車から取り外したり、明るい色の布でカバーして、日光が直接チャイルドシートに当たらないようにしてください。

●プラスチック部分や金属部分に、変形や色の変化などが無いことを確認してからお使いください。なお、カバーは耐用年数の範囲内でも色あせすることがあります。カバーの色があせても、本製品の性能には影響しません。

### 洗濯する

シートカバーをはずし、下記の洗濯表示に従って洗濯してください。  
30℃以下のお湯または薄めた中性洗剤で弱洗いします。  
(それ以上の高い温度で洗うと色落ちするおそれがあります)  
直射日光に当てて乾かささないでください。

## 保管する

### 警告

#### その他の注意事項

- 屋外、高温・高湿な場所にチャイルドシートを長期間放置しないでください。  
パーツが劣化し、衝撃が加わったときなどに本来の安全性能を発揮できないおそれがあります。
- 直射日光の当たる屋外、高温な場所にチャイルドシートを放置しないでください。  
チャイルドシートのバックルが直射日光などで熱を持ち、それに触れてヤケドするおそれがあります。

### 注意

#### 使用時の注意事項

- チャイルドシートを保管するときは、お子様の手の届かないところに保管してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 本製品を保管するときは、直射日光や雨風の当たらない場所に保管してください。本製品を長期間保管するときは、安定した場所に保管してください。

## 廃棄する

本製品を廃棄するときは、お住まいの各自治体のきまりに従って廃棄してください。  
また、電化器具として正しく廃棄処分をしてください。



# お問い合わせ

本製品の使用方法について質問がある場合は取扱店舗へ、次の情報をお手元にご用意いただき弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

- シリアル番号
- 製品名
- ご購入店舗
- お買い上げ年月日
- お子さまの月齢、体重など

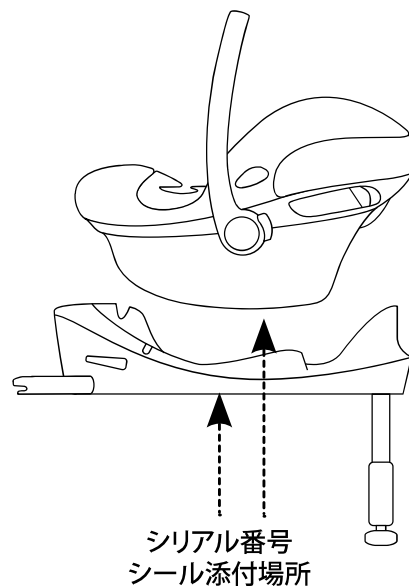
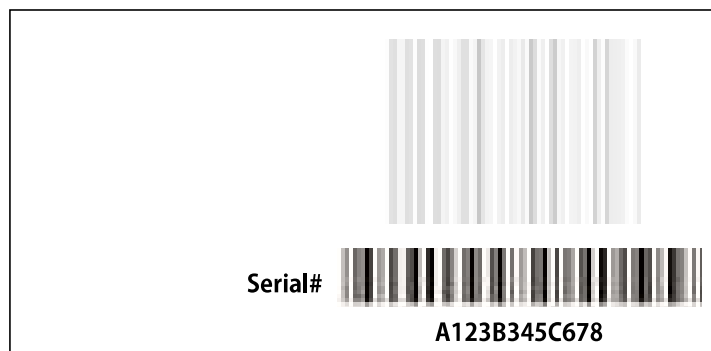
製品に関するその他のご質問については、弊社のHPでもご確認できます。 [www.cybex-online.com](http://www.cybex-online.com)

## ユーザー登録のお願い

お買い上げいただきましたお客様に、万が一、製品に問題が生じたときに、必要な改善措置を速やかに実施するための製品情報などをご連絡させていただくため、ユーザー登録をお願いしております。以下QRコードからユーザー登録サイト「My CYBEX」にアクセスの上必要事項をご入力ください。

### シリアル番号 (Serial#)

下図を参照に、貼付けされているシールに記載された「アルファベット + 数字」の12桁からなる番号をカードに記載してください。



## 保証規定

---

下記の条件を満たした場合、当製品は製造上の又は部品上の瑕疵について、正規販売店からのご購入日より3年間保証されます。製品は製造者の判断で、「無償修理」又は「代替品の無償供給」がなされます。

1. 日本国内で、正規販売店よりご購入された最初のご所有者である場合。
2. 「ご購入製品」、「正規販売店名」と「ご購入日」が明確にわかるレシート等ご購入の証明をお持ちであるか、当取扱説明書の保証書の欄に、「正規販売店スタンプ」と「ご購入日」が明示されている場合。
3. 製品が販売店または正規輸入代理店の指示に従って、所有者の送料負担により持ち込まれた場合。
4. 製品受領後、瑕疵を発見して直ちに上記3.の対応が取られた場合。
5. 使用者が、当取扱説明書に沿って製品を使用された場合。

6. 次の除外事項に抵触しない場合。
  - a. 当取扱説明書に沿わないご使用。
  - b. 製品を落下させる等、使用者の過失による破損。
  - c. 交通事故を含む事故、火災、水害、地震等の災害による破損。
  - d. 製品の自然摩耗、汚れ、退色、ファブリックの破れ・裂け等
  - e. 製造者以外の手による改造がなされている場合

### 注意

- 1) 当保証は日本国内でのみ有効です。
- 2) 製品が著しく汚損している場合、メンテナンス等をお断りする場合がございます。
- 3) 製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができない場合がございます。また保証期間内においても交換する部品または製品の色、柄、仕様などについてはご希望に添えない場合があります。